

実践的推論とアブダクション

中山 康雄 (Nakayama, Yasuo)

大阪大学大学院人間科学研究科

本発表の目的は、実践的推論 (practical inference) とは何かを明確化することにある。このとき、アブダクションの推論形式を拡張することを提案する。一般に、アブダクションは最善の説明への推論 (inference to the best explanation) と理解される。本発表では、このアブダクションを信念の合理的なアップデート規則として解釈することを提案する。まず、「最善」概念を、選考関係 (preference relation) を用いて明確化する。ここで言う選考関係は、反射性と推移性を満たす関係のことである。信念のアップデート規則は、「特定の現象を演繹的に説明できる (矛盾を引き起こさない) 仮説候補の中で与えられた状況理解の中で最も選考される仮説を受け入れる」というような規則である。

次に、欲求の合理的アップデート規則を提案する。このために、私が提案している動的規範論理学 (Dynamic Normative Logic) を修正した枠組みを提案する (Nakayama 2014)。そこで、欲求のアップデート規則として、「特定の目標欲求を演繹できるような (矛盾を引き起こさない) 欲求候補の中で与えられた状況理解の中で最も選考される欲求を受け入れる」というような規則を提案する。このようにして、Anscombe (1989) が議論した「実践的推論」の問題を明確化できることを論じる。

参考文献

- Anscombe, G.E.M. (1989) "Practical Inference," P. A. Schlipp and L. E. Hahn (eds.) *The Philosophy of Georg Henrick von Wright*, (Library of Living Philosopher Series, vol. XIX) Open Court Pub.
- Nakayama, Y. (2014) Nakayama, Y. (2014) "Speech Acts, Normative Systems, and Local Information Update," In: Y. I. Nakano, *et al.* (eds.) *New Frontiers in Artificial Intelligence (JSAI-isAI 2013 Workshops, Kanagawa, Japan, Selected Papers from LENLS10, JURISIN2013, MiMI2013, AAA2013, DDS13)*, LNAI 8417, Springer Verlag, pp. 98-114.